

塗 装 仕 様 書

塗 装 略 号 : S O P		塗 装 仕 様 : 合成樹脂調合ペイント塗り	
素 材 : 鉄鋼面			
部 位 : 屋 外 / 屋 内			
下 地 調 整 : R B 種		種 別 : B 種	錆止め塗料塗り : C 種
規 格 : J I S K 5 5 1 6 I 種		塗 料 名 : パワーホルス F 4	

工 程			規 格 番 号	塗 料 そ の 他	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20℃)
錆止め塗料塗り	下地調整	1	既存塗膜の除去	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分及び錆等を除去し、活膜は残す。		
		2	汚れ、付着物除去	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。		
		3	油類除去	溶剤ぶき		
		4	研磨紙すり	研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する。		
		1	錆止め塗料塗り (下塗り1回目)	J I S K 5 6 7 4 I 種	ラスゴンセーフティ (K) 塗料用シンナー A 100 0～10	0.10 8時間以上 6ヶ月以内
		2	研磨紙すり	研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する。		
		3	錆止め塗料塗り (下塗り2回目)	J I S K 5 6 7 4 I 種	ラスゴンセーフティ (K) 塗料用シンナー A 100 0～10	0.10 8時間以上 6ヶ月以内
	1	穴埋め、パテかい		J A S S I 8 M-I I O	不飽和ポリエステルパテ	— —
2	中塗り		J I S K 5 5 1 6 I 種	パワーホルス F 4 塗料用シンナー A 100 0～10	0.09	4時間以上 7日以内
3	上塗り		J I S K 5 5 1 6 I 種	パワーホルス F 4 塗料用シンナー A 100 0～10	0.08	—

(注) 1. 1回目のさび止め塗料塗りは、素地露出部分のみ塗り付ける。
2. ラスゴンセーフティ (K) の標準膜厚は30μmである。
3. J A S S I 8 M-I I Oは日本建築学会材料規格である。

「塗付け量」と「所要量」について
「塗付け量」は、被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量のことです。
「所要量」とは、被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量のことです。
「所要量」は塗料のロス等を含みますので、「塗付け量」よりも多くなります。

※ 塗付量は被塗物の形状や塗装条件などによって増減することがあります。